

月火水木金の曜日と 祝祭日について

伊佐 一二久 陸士55

月火水木金の曜日は私たちの日常生活に密着しており、学校教育、勤務、社会生活など曜日を抜きにしては考えられない。

このため、かえってその由来などについて無関心の人が多いのではないかと思っている。

そこで七曜がいつから使われるようになったのか調べてみた。日本に曜日が伝わったのは平安初期でずいぶん昔であるが、当時はあまり使われず明治以降によくやく普及している。

明治維新で外国との交流が始まり、外国企業の要請を受けて明治政府の指導の下に明治9年3月、週日システムが日本に輸入された。

しかし、外国企業以外に末梢の民間にまで七曜日が普及したのは昭和初期と言われている。

曜日の名称は、古代ローマが起源で、太陽（日）、月、5惑星に由来している。

古代ローマでは1日を24等分して1時間毎に5つの惑星と太陽と月とを繰り返してはめて呼称し、その順番は距離の遠い順に土星、木星、火星、太

陽、金星、水星、月と決め、1日の最初の1時間が1日全部を支配するとした。その結果、最初の日の最初の1時間には土星、2日目の最初の1時間は太陽、3日目の最初の1時間は月、以降火星、水星、木星、金星となつて、土曜日から始まり7日間で繰り返される曜日ができた。

その後、宗教上の理由で週の初めは日曜となり、更にローマがキリスト教を国教にしてから日曜にキリストが復活したことを記念するため日曜日を安息日の休日と決めた。

日本の曜日は平安時代初期に弘法大師が密教とともに持ち込んだ宿曜經に記されているという。

月火水の曜日は中国から輸入されて、中国でも中華民国までの長い間月火水が使われていた。だが今では使われてないよう、以下の言葉が使われている。なぜ変わったのか不明であるが、月火水より星期一・二・三の方が覚えやすいからであろう。

星期を用いたもの：日曜日(星期日)、月曜日(星期一)、火曜日(星期二)、水曜日(星期三)、木曜日(星期四)、金曜日(星期五)、土曜日(星期六)。
また礼拝を用いたものもある。
日曜日(礼拝天)、日曜日(礼拝(日))、月曜日(礼拝一)、火曜日(礼拝二)、水曜日(礼拝三)、木曜日(礼拝四)、

金曜日(礼拝五)、土曜日(礼拝六)。礼拝はキリスト教徒で使われ、日曜日に礼拝するので日曜日を礼拝(日)または礼拝天、曜日を礼拝一、二、三と言ったが、キリスト教徒以外でも使われていたようである。

このほか天一三三四五六を用いているようだが詳細は不明である。結論として曜日を「日(Sunday)月(Monday)火(Tuesday)水(Wednesday)木(Thursday)金(Friday)土(Saturday)」と決めたのは宿曜經を翻訳した不空とその弟子史陽と言われる。

昔戦時中に愛唱された軍歌に「月月火水木金」という歌があり、海軍兵士の覚悟を歌ったもので私たちも歌っていたが、元軍人の方にも懐かしいと思ひご紹介させていただく。

月月火水木金金
(1) 朝だ夜明けだ 潮の息吹 うんと吸い込む あかがね色の 胸に若さの漲る誇り 海の男の艦隊勤務
(2) 赤い太陽に 流れる汗を 拭いて 月々火水木金金
にっこり 大砲手入れ 太平洋の 波、波、波に 海の男だ艦隊勤務
月月火水木金金
(3) 度胸ひとつに 火のような錬磨 旗は鳴る鳴る ラッパは響く 行くぞ日の丸 日本の艦だ

海の男の艦隊勤務 月月火水木金金
註：「大日本軍歌集―同期の桜」から引用

私が子供の頃、昭和初期では日曜日だけが休みであったが、そのころは四大節といつて

(1) 新年節(四方拜で現在の元日) 1月1日で天皇が天地四方を拜されていた。
(2) 紀元節(現在の建国記念日) 2月11日で神武天皇即位の日
(3) 天長節(天皇ご誕生日) 昭和時代は4月29日、奈良時代光仁天皇(775年9月)の時初めて行われ、その後中断、明治元年再興。明治天皇(11月3日)、大正天皇(8月31日)、昭和天皇(4月29日)、上皇陛下(12月23日)

(4) 明治節(11月3日) 明治天皇誕生日、1222代天皇で在位1867〜1912年、昭和2年制定。
四大節の日は、日曜日でも学校に出て校長が教育勅語を奉読し、生徒たちは直立不動の姿勢でいた。今のようには振替休日がない時代であった。

昔の祭日は以下のとおりであった。
(1) 元始祭(1月3日) 皇位の元始をお祝い
(2) 春季皇霊祭(3月21日) 現在の春分の日
(3) 神武天皇祭(4月3日) 神武天皇

崩御の日
(4) 秋季皇霊祭(9月23日) 現在の秋分の日
(5) 神嘗祭(10月17日) 新穀を伊勢神宮に奉呈日。今は宮中と伊勢神宮のみ。

(6) 新嘗祭(11月23日) 現在の勤労感謝の日。天皇が新穀を神に奉呈。
(7) 大正天皇祭(12月25日) 大正天皇崩御の日
2021の祝祭日は誰でも「存じ」と思うが以下に記載した。
1月…1日元日、11日成人の日(1月の第2月曜日)
2月…11日建国記念の日、23日天皇誕生日
3月…20日春分の日
4月…29日昭和の日
5月…3日憲法記念日、4日みどりの日、5日こどもの日
7月…19日海の日(7月の第3月曜日)
8月…11日山の日
9月…20日敬老の日(9月の第3月曜日)、23日秋分の日
10月…11日スポーツの日(10月の第2月曜日)
11月…3日文化の日、23日勤労感謝の日

以上七曜日の由来、および祝祭日について記述させていただきました。ご意見がありましたらご教示頂ければ有難く存じます。